

# 令和5年度の新しい制服



新しい制服の  
ボタンの  
デザイン  
(予定)

# 令和5年度の新しい制服



鹿屋市立第一鹿屋中学校

## 第一鹿屋中学校 制服検討結果の報告と運用等に関する指針（Q&A含む）

第一鹿屋中学校 制服検討委員会

### 1 導入の目的について

現行の制服は、1960年代から用いられ、生徒や保護者は自校の制服に愛着を持ち、地域の人たちにも学校のシンボルの一つとして親しまれ、大切に受け継がれてきました。

一方、地球温暖化の影響から自然環境の変化による異常なまでの暑さへの対策も必要となってきています。

また、価値観の多様化（性的マイノリティ LGBTQ）への対応の必要性も出てきたことから、生地やデザイン、機能性の向上も相まって、全国で制服の見直し、検討の動きがあるところです。

そこで、本校では、制服検討委員会を立ち上げ、気候変動に対応した制服、経済的負担の軽減、多様性への配慮、機能性の向上等について、協議、検討を進め、諸課題にできる限り対応した、第一鹿屋中学校の新しい未来を担う「新しい制服」を定めることといたしました。

### 2 新しい制服への配慮事項について

機能的配慮	体温調節、活動	近年の気温の上昇、空調導入等、気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とします。
	耐久性、お手入れ	3年間着用するための耐久性、生徒の成長に対応できる仕様、家庭でのケアがしやすい素材等を採用します。
生徒への配慮	防犯面	女子は、「スカート」といった固定観念に頼ることなく、スラックス等の導入も検討します。
	性的マイノリティ	男女差のないもの等の導入により、性差のある制服に対する負担がある生徒への配慮を行う。
経済的配慮	従来の詰襟、セーラー服では、上述した諸課題への対応は難しい面はあるものの、新しい制服の導入により、制服の導入価格が高くなることは、好ましくないため、現行もしくは現行以下の価格設定をめざす。 また、令和5年度からの3年間は、リユース等の観点から、冬・夏服とともに現行制服の着用も可能とします。 •さらに見た目に分かりにくい程度の素材の違いにより、価格帯の選択ができる等の経済的な配慮を行う。	
現行の制服の課題の改善	現代の様々な状況にできる限りよく対応したものにします。上記以外にもきめ細かな改善を行う。	

### 2 検討結果（デザインと主な仕様（概要））について

本検討委員会で採用いたしました制服は、次のとおりです。

制服とする範囲は上着、ボトム（スラックス、スカート）、シャツとします。

詳細な設計、仕様等については、別途仕様書を作成し検討委員会事務局保管とします。

- (1) 着脱がしやすく、気温差に対応しやすいブレザータイプを採用
- (2) 軽く動きやすい素材、ご家庭でのお手入れ（洗濯）ができる等の機能性

- (3) シャツもニット素材で透け防止、かつノーアイロンで手入れが楽な仕様  
 (4) 上着の袖には、反射材を採用。特に夕方から夜間の交通安全面に配慮  
 (5) 男女の差がないデザインを採用  
 (6) 上着の前合わせは左右どちらでも可能なボタンホールの仕様  
 (7) スラックス、スカートの選択は、自由  
 (8) 現行の制服と同価格帯での製作が実現可能な仕様



### 【冬服仕様】

上 着：ブレザー  
 ボトム：スラックス、  
 スカート  
 選択は自由  
 シャツ：白の長袖  
 シャツ



### 【夏服仕様】

上 着：半袖ポロシャツ  
 ボトム：スラックス、  
 スカート  
 選択は自由



### 【夏服の着こなし】

夏服の着こなし方についてでは、半袖シャツをズボン等の中にしっかりと入れて着用することになります。

### 【ベスト（オプション）について】

シャツインでの着こなしについては、当面、新1年生のみがポロシャツとなるため、新2・3年生にも指導しているように、半袖シャツをズボンやスカートの中にしっかり入れて着用するよう指導します。また、白の長袖シャツの着用の際に、下着が気になることも想定し、オプションとして「ベスト（グレー）」を選定できるようになります。（必須ではありません）

## 3 新しい制服の細部等について

- 制服とする範囲は、上着、ボトム（スラックス、スカート）、シャツとします。
- (1) ネクタイ、リボンについては、購入費用の面からも今回は導入しません。しかしながら、今後の動静を踏まえ必要性（ニーズ）が、高くなるようであれば、その時点で検討することとします。
  - (2) 靴下の色指定については、現状は、白のみであるが、紺や黒の導入についても必要性（ニーズ）が高いことから、生徒会等と協議の上、関係機関との連携を図りながら適切な方法を検討し、対応を図ることとします。

## 4 制服の運用について

- 令和5年4月に入学する生徒は新制服を着用することとします。  
 ただし、移行期間として、現行の制服の着用を認める期間を3年とします。（令和5年度から令和7年度入学の生徒まで）
- ※ 令和2年度から令和4年度入学の生徒については、卒業するまで原則現行の制服とします。なお、令和5・6年度の中學2、3年生の新制服の着用については、特別な制限は設けず、保護者の同意のもと着用してもよいこととします。
- ※ 令和8年4月以降に入学する生徒については、新制服を着用することとします。
  - スラックス、スカートについては、生徒、保護者が自由に選択し、着用できるようにします。

## 5 新しい制服選定への質問について（Q & A）

- (1) 新しい制服になるれば、価格は上がるのか。  
 今年度と同程度の価格を想定しています。

**(2) 学ラン、セーラータイプではないのか。**

地球温暖化による近年の気温の上昇、空調機器の導入等、気温差に対応しやすく、動きやすいデザイン・機能性、性的マイノリティ（LGBTQ）の性別によらない制服等の問題解決の観点から、プレザータイプの制服を導入することとしました。

なお、上着は、プレザータイプとし、ボトム（ズボン・スカートなど）は、夏服タイプとする。（オールシーズン用、冬用も購入可）

**(3) 男女兼用か。**

すべての制服において、男女別の指定はしません。

（ボトムは、スカートでもスラックスでも、着用OKです）

**(4) 一中独自のデザインになるのか。**

購入費用のコストアップをできるだけ避けるために、制服製造専門の会社が既にデザインしている既成のタイプを導入することにしました。

ただし、制服のボタンは、本校校章をデザインしたものを作成する予定（1個170円程度）です。

**(5) 市内の他の中学校が新しい制服を導入する場合、他校との区別を付けなくてもよいのか。**

現時点では、購入費用の高騰を避けるため考えておりません。

ただし、他校との区別が必要との要望が多くなった場合は、改めて、制服のエンブレムやネクタイ等の導入により区別化を図る必要があるか、検討することとします。

**(6) 新年度の入学生は全員、新しい制服を購入しなければならないか。**

制服を新しく購入する場合、基本的には、プレザータイプの新制服を購入していく方向で考えています。

一方で、リユース等の観点から、令和5年度から3年間程度、冬・夏服ともに現行制服の着用も可とすることから、旧制服でのご入学も許可いたします。

**(7) 在校生も新しい制服を購入し、登校することは可能か。**

もちろん、本校の制服になりますので、費用はかかりますが、新しい制服を購入して登校することは可能です。

ただし、高価な買い物になりますので、保護者の同意を得ることを要します。

**(8) オプションのベストは、必ず購入しなければならないのか。**

ベストの購入については、あくまでオプションになりますので、購入の必要はありません。

ただし、夏服の着こなしついては、新2・3年生にも指導しているように、半袖シャツをズボンやスカートの中にしっかり入れて着用するよう指導します。

また、白の長袖シャツの着用の際に、下着が気になることも想定し、オプションとして「ベスト（グレー）」を選定できるようにしました。（必須ではありません）

**(9) ネームはどうなりますか。**

これまで通り、ネームは学年毎に色分けされたネームを着用することになります。

**6 協力メーカー（五十音順）について**

- ・鹿児島菅公学生服株式会社
- ・株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
- ・南九州トンボ株式会社